

武里地区公民館・武里東公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

◇重点施策

- 1 公民館利用者相互の交流を図り、地域の親睦を深める。
- 2 地域をあげたスポーツ大会を通して、地域の世代間交流と連帯意識を深める。
- 3 地域と連携した防災対策事業を推進する。
- 4 学習機会の提供及び、学習活動に対する適切な援助に努め、住民の自主的活動を推進する。

◇重点事業

- | | |
|---------------|------------|
| 1 武里市民センターまつり | 2 武里地区体育祭 |
| 3 防災対策事業 | 4 サークルスタート |

武里地区公民館

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号

TEL 048-735-3004

FAX 048-737-3033

E-mail takekou@city.kasukabe.lg.jp



武里東公民館

所在地 〒344-0032 春日部市備後東七丁目38番16号

TEL 048-735-2527

E-mail taketonkou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	大 山 祐 二
	主査(兼務)	大 野 弘 久
	主任(兼務)	島 村 武
	主任(兼務)	山 崎 孝 一
	主任(兼務)	松 本 直
	主任(兼務)	山 下 剛 史(社会教育主事)
	主任(兼務)	梅 津 裕 介
	フルタイム(兼務)	立 澤 佳 子

武里地区 1

事業名 テーマ	防災対策事業		対 象	地域住民		定 員	事業により 異なる
ね ら い	地域防災について、それぞれの自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、座学と実践を通じて、各自治会において応用できる内容で実践する。自治会と公民館の連携のみならず、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいくことをめざす。						
協力機関 及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会 (備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会、上川町会)		特 色 位置づけ	以下、企画運営上の工夫を参照		SDGs の目 標No	4・11・13・ 17
会 場	武里地区公民館 他		教 材 資 料 等	プログラムにより異なる			
実施ま での 経 過	前年度代表者会議・企画運営委員会で令和2年度事業について決定。 6月実施の合同会議で令和2年度事業について再検討		PR方法	ポスター・チラシ、広報「ぼうさい」			
			受付方法	その都度、異なる			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月18日(木)	15:00～16:00	代表者会議①・企画運営委員会①合同会議	会議	14	2	16	
7月23日(木)	10:00～11:00	企画運営委員会②	会議	11	2	13	
8月20日(木)	14:00～15:30	企画運営委員会③	会議	13	1	14	
8月30日(日)	13:00～16:00	防災訓練(避難所開設)	訓練	29	11	40	
9月16日(水)	14:00～15:40	企画運営委員会④	会議	11	1	12	
10月7日(水)	14:00～15:45	企画運営委員会⑤	会議	12	1	13	
10月24日(土)	15:30～16:30	代表者会議②・企画運営委員会⑥合同会議	会議	16	2	18	
11月2日(月)	13:00～14:30	防災訓練(避難所開設)	訓練	17	12	29	
11月3日(火)	13:00～15:30	防災訓練(避難所運営)	訓練	34	30	64	
11月14日(土)	14:00～15:00	企画運営委員会⑦	会議	11	1	12	
11月28日(土)	14:00～16:00	ぼうさい小町武里①	会議	3	13	16	埼玉県男女共同参画推進センター職員
12月8日(火) ～13(日)		たけさとBunkaウィーク出展					
	開催日による 10:00～16:00	(1)ぼうさいプチ体験 (2)あそ防災	体験 体験	66 32	114 56	180 88	
12月19日(土)	14:00～15:00	代表者会議③・企画運営委員会⑧合同会議	会議	14	2	16	
1月23日(土)	14:00～	企画運営委員会⑨	会議	中止			緊急事態宣言発令のため、中止
2月20日(土)	14:00～16:00	ぼうさい小町武里②	会議	中止			
3月20日(土)	10:00～12:00	第8回 防災をかんがえる日	講演	中止			
3月20日(土)	10:00～10:20	会計監査	会議	2	2	4	
3月27日(土)	14:00～14:40	代表者会議④・企画運営委員会⑩合同会議	会議	17	3	20	
毎月1日		広報「ぼうさい」発行					4自治会全戸配布 ※5月号は、発行中止
21回	76時間55分			302	253	555	
企画運営上の工夫	・コロナ禍での避難所について、レイアウトの再検討からスタートした。検討→訓練→反省のサイクルで、様々な課題に対する解決策を考えた。その成果として、オリジナルの「感染症対策に配慮した避難所開設マニュアル」を作成し、避難者の受入れ訓練まで実施できた。 ・12月に1週間開催したたけさとBunkaウィークに出展した。「防災プチ体験」に180人、子ども向け「あそ防災」に88人の参加があり、防災活動について広く知ってもらうことができた。						
成 果 参加者の声 など	・「災害はいつ起きるか分からない」からこそ、今できることをやろうという声があった。 ・訓練等に参加した地域住民からは、コロナ禍の今、「避難所に避難する」だけではなく、在宅避難も検討しているとの声があった。						
課題と展望	「感染症対策に配慮した避難所開設・運営」について検討を進めていくとともに、子どもの力を活かすための取り組み、作成から時間が経過した「防災マップ」の見直し等が課題である。このことについては、次年度以降に取り組んでいく。						

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば		対象	武里小学校児童		定員	コーナーによる
ねらい	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日の子どもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施している。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施する。						
協力機関 及び団体	主催:武里小放課後子ども教室実行委員会		特色 位置づけ	公民館利用サークル、 地域の方の協力を得て 実施 大学生のボランティアス タッフが協力 以下、企画運営上の工 夫を参照		SDGs の目 標No	11
会場	武里地区公民館 2階全フロア、3階研修室1、2、グラウンド		教材 資料等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	前年度の実行委員会で令和2年度の日程及び内容を協議		PR方法	チラシを武里小学校全児童に配布			
			受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。 参加費は、各講座で異なる。			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月の実行委員会及び6月～3月のどうようひろばは中止。							
6月13日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			室内スポーツ… スポーツ推進委員 グラウンドゴルフ… いきいき藤クラブ
7月11日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
9月12日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
11月7日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			和楽器…山桐会
12月12日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			工作… 地域ボランティア、梅本 春枝、埼玉県立大学教 諭、共栄大学学生、庄和 風保存会
1月9日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
2月13日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			
3月13日(土)	9:30～11:30	どうようひろば	実習	中止			手芸…春日部市レクリ エーション研究会、ネオ ステンドアートボビー、 ぬくもりアルバム工房 MOKO フラダンス…クブアエケ アロハ チアダンス…ATLAS SPIRITS 料理…洋子蕎麦打ち倶楽部 他
3月12日(金)	10:00～11:15	武里小学校放課後子ども教室 実行委員会	会議	8	6	14	
1回	1時間15分			8	6	14	
企画運営上の工夫	・公民館利用サークルをはじめ、地域の方を講師に事業を実施。令和2年度は実行委員会からの依頼を受け、新たにチアダンスのサークルとつながりを作るなど、公民館だからできることに準備の段階から取り組んだ。						
成果 参加者の声など	実施せず						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止について、学校の対応状況とも歩調を合わせながら実施していく必要があるが、子どもたちにとっての貴重な体験の機会であり、また、サークル・公民館の活性化にもつながるため、公民館利用サークル・地域の方を積極的に採用し、「地域の子どもたちを地域で育てる」仕組みを継続していきたい。また、大学生やボランティアを積極的に採用し、様々な方のご協力をいただきながら、事業を盛り上げていきたい。						

事業名 テーマ	ふれあい教室 いこーよ！こうみんかん	対 象	小学生	定 員	40名		
ね ら い	コロナ禍において様々な事業が中止になる中、子どもたちに体験・経験の機会を設け、興味関心を引き出すとともに、社会性を身に着ける場とする						
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ	春休み開催	SDGs の目 標No	4		
会 場	武里地区公民館 2階講堂・会議室1・2	教 材 資 料 等	プログラムにより異なる				
実施ま での 経 過	2月6日(土) 打ち合わせ① 2月19日(金) 打ち合わせ② 3月1日(月) 公民館だより3月号 3月12日(金) 打ち合わせ③ 工作試作 会場レイアウト検討 3月12日(金) 申込開始	PR方法	公民館だより				
		受付方法	武里地区公民館で直接又は電話により先着順に受付				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計		合計
3月27日(土)	9:30～11:45	うめちゃん先生のくるくる レインボー りょう先生のキラキラフィッ シングパーク うめちゃん先生の不思議 な手品	実習 実習 実習	8	12	20	梅本 春枝 梁 洋子 保護者等25人も参加
1回	2時間15分						
企画運営上 の 工 夫	・春休みに開催し、子どもたちの参加しやすい日程を設定 ・事前申込制にし、会場が密にならないようなレイアウトをする ・次年度の「武里小学校わかたけっこひろば」にもつながるようなプログラムを実施することで、子どもたちの興味関心を引き出す						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	子どもたちからは「工作を両方したかった」という声が挙がるなど、興味関心を持ってもらうには十分な内容だった 保護者も一緒に参加する子どももおり、土曜日開催ということもあるのか父親の参加もあった。親子で楽しく工作を行っており、親子のふれあいが見られる光景も多々あった。						
課題と展望	子どもたちに何とか体験の場、楽しく過ごせる場を年度内に1回でも、という地域の声もあり、春休み中に開催した。参加した子どもたちが作品を自慢げに、楽しそうな表情で帰っていく姿を見ると、公民館で様々な内容の体験・経験の場を設ける必要性を改めて感じている。 次年度は、「武里小学校放課後子ども教室わかたけっこひろば」にも今回の内容を取り入れるなど、子どもたちの「やりたい」「やってみたい」気持ちに応えていきたい。						

事業名 テーマ	たけさとカフェ		対 象	一般		定 員	20～ 30名	
ね ら い	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。							
協力機関 及び団体	各講師の所属する機関・団体		特 色 位置づけ	企画運営委員の 協力による市民 主体の事業		SDGs の目 標No	4・11・17	
会 場	武里地区公民館 研修室1又は講堂		教 材 資 料 等	プログラムにより異なる				
実施ま での 経 過	前年度の企画運営委員会において、プログラム内容を検討した。 実施前月発行の公民館だよりで広報		PR方法	公民館だより				
			受付方法	武里地区公民館で直接又は電話により先着順に受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
※当初開催を計画していた5・6・1・2・3月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止								
5月15日(金)	14:00～16:00	マネープラン	講義	中止			倉並 珠貴	
6月19日(金)	14:00～16:00	夏の暑さ対策とお薬手帳	講義	中止			ウエルシア薬局(株)	
7月17日(金)	14:00～16:00	夏の暑さ対策とお薬手帳	講義	2	8	10	ウエルシア薬局(株)	
8月21日(金)	14:00～16:00	イチから学ぶキャッシュレス決済やマイナポイント	講義	6	15	21	倉並 珠貴	
9月18日(金)	14:30～16:15	新型コロナウイルスにかからないために	講義	9	20	29	春日部中央総合病院	
10月16日(金)	14:00～15:15	脳血管疾患を予防しよう	講義	6	28	34	武里外科脳神経外科	
11月20日(金)	14:00～16:00	LED照明の使い方健康に！	講義	5	13	18	椎原 敏次	
12月18日(金)	14:00～16:00	風邪と免疫	講義	5	13	18	埼玉県立大学	
1月15日(金)	14:00～16:00	笑って元気に！腹話術マジックショー	講義	中止			木村 操	
2月19日(金)	14:00～16:00	令和時代のセカンドライフ～認知症編～	講義	中止			明治安田健康開発財団	
3月19日(金)	13:30～15:30	笑って元気に！腹話術マジックショー	講義	中止			木村 操	
(5・6・1月に予定していた講座が緊急事態宣言の発令に伴い中止となったため、後の月で設定したが、緊急事態宣言の延長があり、一部実施できない講座があった。たけさとカフェとしては、年間6回の実施となった。)								
6回	11時間			33	97	130		
企画運営上の工夫	・市民主体の運営をめざし、企画運営委員にプログラムの企画及び当日の会場準備や受付等をお願いした。 ・コロナ禍で実施のため、プログラムや実施方法に変更が生じたが、随時企画運営委員会を開催し、情報を共有した。また、感染拡大防止の為、前年度まで行っていた飲食物の提供を中止し、無料で参加可能にした。							
成 果 参加者の声など	毎月第3金曜日の午後の開催が定着し、毎回楽しみに参加してくれる方も多い。今年度は、コロナ禍での開催となり、健康に関する講座が多くなったが、全体としても80%近い満足率となった。							
課題と展望	今後も、企画運営委員の協力を得ながら進めていきたい。また、テーマについては、アンケート結果を参考にしながら、市民のニーズにあった内容や地域の課題解決につながるように選定していきたい。また、今年度中止となったテーマについても、次年度以降改めて取り組みたい。							

武里地区 5

事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」		対 象	認知症の方やご 家族の方		定 員	20人	
ね ら い	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方などが、気軽に参加できる集いの場をつくる。また、認知症についての学習・研修の場をつくり、地域における認知症への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフの育成、援助に努める。							
協力機関 及び団体	共催:春日部市第4地域包括支援 センター		特 色 位置づけ	ボランティアスタッ フの協力で運営		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	武里地区公民館 3階研修室1		教 材 資 料 等	プログラムにより異なる				
実施まで の 経 過	7月18日(土) 打ち合わせ 8月 1日(土) 公民館だより8月号掲 載 以降、毎月掲載		PR方法	広報かすかべ 公民館だより チラシ				
			受付方法	第4地域包括支援センターに直接又は 電話により受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
4月18日(土)	10:00～12:00	中止	講義等	2	5	7	春日部市第4地域 包括支援センター	
5月16日(土)	10:00～12:00	中止						
6月20日(土)	10:00～12:00	中止						
7月18日(土)	10:00～12:00	中止						
8月15日(土)	10:00～12:00	中止						
9月19日(土)	10:00～12:00	ハザードマップの話、工作等						
10月17日(土)	10:00～12:00	施設に関する話、工作等						
11月21日(土)	10:00～12:00	車いすに関する話、工作等						
12月19日(土)	10:00～12:00	介護度・要支援の話、工作等						
1月16日(土)	10:00～12:00	中止						
2月20日(土)	10:00～12:00	中止						
3月20日(土)	10:00～12:00	中止						
4回	8時間							
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、事前申込制に変更、定員を20名に設定 これまで実施していた飲み物等の提供を取りやめ、各自持参するスタイルに 参加者同士の交流を目的とし、おしゃべり等の時間を重要視していたが、ミニ講義と工 作、簡単な体操のプログラムに変更							
成 果 参加者の 声 など	これまでの形態を取りやめ、ミニ講義を毎回設けることで、勉強になった、もっと知りたい、調べたいという声が多く聴かれた。また、工作や体操などの取り組みも、「久々に体を動かした」「作品を家族に見せたい」など好評だった。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、内容や実施方法を変更したものの、定着している「毎月第3土曜日はオレンジカフェ」を継続させるため、共催となる包括支援センターとは密に連絡を取った。事業実施に向けて、講義形式、工作の内容、体を動かすプログラムに焦点を当て、次年度も工夫しながら毎月実施していきたい。また、事業の運営に関わってくださっているボランティア「ニコニコ会」の皆さんにも引き続きご協力いただき、「こんにちは!」「おひさしぶり!」「元気?」のやり取りができるよう公民館もアイデアを出していきたい。							

事業名 テーマ	パソコンの操作を学ぼう！		対 象	一般		定 員	各回 10名
ね ら い	日常生活の中の身近なテーマについて学習する。 パソコン初心者を対象に、日常生活に必要なパソコンの基礎知識を学ぶ機会をつくる						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	市民ボランティア の協力により運営		SDGs の目 標No	4・11・17
会 場	武里地区公民館 会議室1・2又は研修室1		教 材 資 料 等				
実施まで の 経 過	7月4日(土) ボランティアスタッフ打合 せ 実施前月1日発行の公民館だよりで広 報		PR方法	公民館だよりに募集記事掲載			
			受付方法	武里地区公民館で直接又は電話により 先着順に受付			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
※1・2・3月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止							
7月11日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		3	2	5	
7月18日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		4	4	8	
9月12日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		3	2	5	
9月19日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		3	2	5	
10月10日(土)	14:00～16:00	※台風接近のため中止		中止			
10月17日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		0	4	4	
11月14日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		3	4	7	
11月21日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		2	3	5	
12月5日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		0	3	3	
12月19日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問解決		2	3	5	
12月12日(土)	10:00～16:00	写真入り名刺作り (たけさとBunkaウィーク)		8	8	16	
10回	24時間			28	35	63	
企画運営上 の 工 夫	ボランティアスタッフ1人で参加者1人～2人を教える「ほぼマンツーマン」の講座で、参加者の日ごろ感じている疑問点について、スタッフのできる範囲内で指導している。新型コロナウイルス感染拡大対策として、スタッフはマスクに加えてフェイスシールドを着用し、また、会場のレイアウトも、飛沫感染を防げるように対面にならないようにした。						
成 果 参加者の 声 など	ボランティアスタッフができるだけ受講者の要望に沿った内容で指導しているため、受講者の満足度は95.6%と高い。そのため、再受講を希望する方も多く、また、毎月参加をすることで、前回参加した時に学習したことを発展させた内容での質問対応を行うことで、継続的なスキルアップにつながっている。						
課題と展望	ノートパソコン持込を条件に開催したところ、Windows以外のソフトでの質問も散見されており、ボランティアスタッフがその場で対応できないこともある。ボランティアスタッフ同士での勉強会等を行い、スキルアップを図る必要がある。						

武里地区 7

事業名 テーマ	家庭教育講演会 「子どもを伸ばすためには ～幼少期と思春期それぞれの関わり 方～」		対 象	一般		定 員	50名
ね ら い	子どもを持つ保護者が、家庭教育の機能を高めるために学習を深め、親の役割を自覚することにより心豊かな子どもの健全育成を図る。家庭における教育機能の向上を目指し、また地域の大人も子どもへの対応等を学ぶことにより、あわせて地域の教育力も高める。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会 場	武里地区公民館 2階講堂		教 材 資 料 等	レジュメ			
実施ま での経 過	3月中 10月 1日 10月23日 10月24日 10月29日	講師依頼 公民館だより10月号掲載 メール・ツイッター配信 申込開始 管内四校等に情報提供	PR方法	公民館だより 子育て情報メール 管内四校等にチラシ、ポスターを配 布			
			受付方法	武里地区公民館で直接又は電話 により先着順に受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月14日(土)	10:00～12:00	子どもを伸ばすためには ～幼少期と思春期それぞ れの関わり方～	講座	2	5	7	高橋 大輔氏 花まる学習会 埼玉 ブロック ブロック長
1回	2時間			2	5	7	
企画運営上 の工夫	・会場を研修室1から講堂に変更し、会場を広くする。また、参加者の来館前の検温実施、手の消毒、部屋の使用後の消毒、講師の飛沫感染防止対策等、3密の対策を十分に実施する。 ・武里四校連絡会議でニーズを把握し、情報提供していただいた講師に依頼 ・保護者に限らず、周囲の大人が子どもにどう関わるかも含めて、家庭教育・地域の教育力の向上を目指す意味で、一般を対象に幅広く募集をかける。 ・広く参加いただくため、管内の施設等に情報提供等を行う。						
成 果 参加者の 声 など	参加は少人数だったが、講演終了後、質疑応答では各参加者と講師が直接話せる機会を持つことができ、各参加者の聞きたい・知りたいことに応えていただくことができた。アンケート結果も好評をいただいております、実践に基づく講演内容に参考になる部分が多かったようである。						
課題と展望	幼少期から思春期までの幅広い子育て世代層に対応するための講演会だったが、広すぎてどこに焦点を当てるか、見えにくい部分もあった。次年度は、四校連絡会議内でニーズ等を伺い、的を絞ったテーマにすること、また回数等も検討しながら様々なニーズに応えていきたい。						

事業名 テーマ	子育て広場 (ベビーマッサージ、ベビーヨガ、親子ビクス)		対 象	生後6ヶ月～未就 園児とその保護 者	定 員	各回 5組	
ね ら い	乳幼児期の子どもを抱える保護者に学びと交流の場を設け、安心して子育てができる環境を整える。						
協力機関 及び団体	春日部地区助産師会 日本こどもフィットネス協会		特 色 位置づけ	子育て支援事業	SDGs の目 標No	4・11	
会 場	武里地区公民館 2階 講堂、和室 3階 研修室2		教 材 資 料 等	レジュメ 講師が用意する教材			
実施ま での経 過	3月中 講師依頼 8月1日(土) 公民館だより8月号 8月21日(金) 申込開始 以降、開催前月号の公民 館だよりに掲載・募集		PR方法	広報かすかべ 公民館だより			
			受付方法	武里地区公民館で直接又は電話 により先着順に受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
6月10日(水)	10:00～12:00	ベビーマッサージ、産後の ストレッチ、子育て相談	実習	中止			春日部地区助産師会
7月10日(金)	10:00～11:00	ベビーヨガ、ベビービクス	実習	中止			加藤 啓子 氏
9月11日(金)	10:00～12:00	親子ビクス	実習	1	3	4	加藤 啓子 氏
11月11日(水)	10:00～12:00	ベビーマッサージ、産後の ストレッチ、子育て相談	実習	3	7	10	春日部地区助産師会
1月15日(金)	10:00～11:00	ベビーヨガ、ベビービクス	実習	中止			加藤 啓子 氏
3月24日(水)	10:00～11:00	ベビーヨガ、ベビービクス	実習	3	8	11	加藤 啓子 氏
6回	9時間			7	18	25	
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として定員を少なくし、密になる状態を避けた 緊急事態宣言中は中止したが、子育て中の保護者のニーズに合わせて、1月実施分 は3月に振り替える、その日の参加者の雰囲気に合わせて内容を変えるなど臨機応変 な対応を心掛けた 乳児の月齢に合わせたプログラム内容と実施時間で、子どもに負担のかからないよう工 夫した						
成 果 参加者の 声 など	特に3月の講座に関しては、緊急事態宣言明け直後に実施したこともあり、参加者から 「何か参加したかった」「実施してもらえて本当に良かった」などの声をいただいている。 各回で実施したアンケート結果も好評をいただいた。						
課題と展望	武里地区公民館で行政利用としてすでに実施している「子育てサロン」が毎月1回開催 されており、「子育て広場」と内容が重なることから、「子育て広場」は今年度で事業を終 了し、「子育てサロン」を令和3年度から共催で実施する。 また、幼児をもつ保護者を対象にした幼児家庭教育学級を新設し、さらなるニーズに応 えていく。						

事業名 テーマ	くらしの講座 健康体操教室～健康体操&レクリエーション			対象	一般			定員	40人			
ねらい	簡単な体操やレクリエーション等を通して、健康の増進を図る機会をつくる。											
協力機関 及び団体	なし			特色 位置づけ	運動の習慣づけを ねらいとして、全2 回で実施した。			SDGs の目 標No	4・11			
会場	武里地区公民館 講堂			教材 資料等	なし							
実施ま での経 過	3月1日(日) 公民館だより3月号掲 載 3月12日(木) 参加申込受付開始			PR方法	公民館だより							
				受付方法	武里地区公民館で直接又は電話に より先着順に受付							
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名					
回 数	総時間数			男	女	合計						
				計	計							
4月4日(土) 4月11日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	9:30～11:30 9:30～11:30	健康体操及び レクリエーション	実習				春日部市レクリエー ション研究会					
0回	0時間				0	0						0
企画運営上 の工夫	申込み受付時に参加者の年代を確認し、参加者に合った内容で実施してもらうよう講師と打ち合わせをした。また、運動だけでなく、レクリエーションやゲームも取り入れ、運動が苦手な方でも楽しく参加できるような内容を目指した。											
成果 参加者の 声 など	実施せず											
課題と展望	暖かくなる春先であり、新年度の始まりである4月に実施することで、参加後も運動を継続してもらえるような講座を目標とするため、レクリエーション等も取り入れていたが、単発事業で終わらせるのではなく、継続的な事業として定期的な運動の機会を提供することも検討していきたい。											

事業名 テーマ	くらしの講座 「いつもいきいき！えんトレ体操」 サポーター養成講座		対 象	一般		定 員	10名			
ね ら い	健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図り、継続的な講座の実施で健康をきっかけにした地域リーダーの育成もあわせて図るものである。令和3年度の本格実施に向けて、今年度は講座を進行するサポーターを養成する講座を実施する。									
協力機関 及び団体	共催：第4地域包括支援センター 介護保険課		特 色 位置づけ	年間を通した事業 様々な団体との連携		SDGs の目 標No	4・11			
会 場	武里地区公民館 2階講堂		教 材 資 料 等	プログラムにより異なる						
実施ま での 経 過	1月1日(金) 公民館だより1月号掲 載 1月7日(木) 打ち合わせ 1月14日(木) 申込開始		PR方法	公民館だより						
			受付方法	武里地区公民館で直接又は電話 により先着順に受付						
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名			
				男	女	合計				
回 数	総時間数			計	計	合計				
2月16日(火)	10:00～11:30	中止	緊急事態宣言に伴い、以下の日程にて再設定							
3月 2日(火)	10:00～11:30	中止								
3月 9日(火)	10:00～11:30	中止								
3月16日(火)	10:00～11:30	中止								
3月 9日(火)	10:00～11:30	中止								
3月16日(火)	10:00～11:30	中止								
3月24日(水)	10:00～11:30	中止								
3月30日(火)	10:00～11:30	中止								
0回	0時間				0	0			0	
企画運営上 の 工 夫	・時節にあった、関心の高いテーマを設定。厚生労働省によると、平均寿命と健康 寿命(日常生活に制限のない期間)の差は、平成28年で、男性8.84年、女性12.35 年となっている。平均寿命の延伸に伴い、健康寿命との差が拡大すれば、医療費 や介護給付費の多くを消費する期間が増大することになる。疾病予防と健康増進、 介護予防などによって、平均寿命と健康寿命の差を短縮することができれば、社会 保障負担の軽減も期待できる。 ・年間を通した事業で、参加者からサポーターになっていただき、自主的な運営を 目指す。 ・地域で活動するリーダー養成の意味合いも兼ねる。 ・第4地域包括支援センター・介護保険課と共催とすることで、深みのある事業を展開する									
成 果 参加者の 声 など	緊急事態宣言に伴い、事業を実施できず									
課題と展望	緊急事態宣言に伴い、当初のプログラムでは事業が実施できず、3月に延期して 開催することを模索したが、宣言の再延長に伴い、2年度中の開催を断念した。 次年度に仕切り直して募集をかけ、5月から養成講座を実施、6月からえんJOYト レーニングを開始するべく準備を進めている。									

事業名 テーマ	くらしの講座 ①春の散策・ガイドと歩く春日部の歴史 ②秋の散策		対象	成人一般		定員	①30人 ②募集せず	
ねらい	地域住民に、市内及び近隣の歴史や産業を学ぶ機会を作り、郷土への理解や関心を深めてもらう。また、参加者同士のコミュニケーションをとる機会とする。							
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員 (武里地区・武里南地区)		特色 位置づけ	大枝公民館との 共催事業		SDGs の目 標No	4・11	
会場	①鷲神社・鷲神社、小淵山観音院 等 ②募集せず		教材 資料等	散策のしおり				
実施までの経過	①1月10日(金) 打合せ 2月14日(金) 下見(行程決定) 4月1日(水) 公民館だより4月号発行 4月16日(木) 申込受付開始 ②7月17日(金) 生涯学習市民推進員と打合せを行い、秋の散策の中止を決定。あわせて、中止となった春の散策に桜の見所を追加し、3月の開催を検討することを決定。 →令和3年1月より緊急事態宣言が発令されたため、中止。		PR方法		①公民館だより ②募集せず			
			受付方法		①4月16日(木) 午前8時30分から、 先着順に、武里地区公民館と武里大枝公民館で、直接又は電話により受付 ②募集せず			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
①5月20日(水)	9:00～15:00	北春日部駅(出発)→浄春院→鷲神社・鷲神社→小淵山観音院→幸松第二公民館(昼食)→春日部薬草園跡→ぷらっと春日部(解散)	見学				生涯学習市民推進員 春日部観光ボランティアの会	
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。 令和3年3月実施で調整を進めていたが、 緊急事態宣言の発令により中止。								
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上の工夫	①市内の史跡に詳しい春日部観光ボランティアの会の方に講師を依頼した。また、生涯学習市民推進員おすすめの「鷲神社・鷲神社」や、オリンピック聖火リレーコースを取り入れた行程とした。							
成果 参加者の声など	実施せず							
課題と展望	春の散策では、事業開始以来、市内の数多くの史跡や名所を回っており、次第に散策コースの選定が課題となっていくと思う。今後も参加者の安全や体調に配慮し、楽しく魅力ある内容で実施していくとともに、Withコロナの時代には、「密を避ける」「距離を保つ」などの対策が必要ではあるが、屋外での活動になる本事業では、屋内での事業とは違った工夫が必要になるため、生涯学習市民推進員と共に考え、取り組んでいく必要がある。							

事業名 テーマ	たけさとBunkaウィーク		対 象	一般		定 員	各部屋ごとに設定
ね ら い	武里地区公民館・武里東公民館利用団体や地域の人を対象に、3密を避けた形での成果発表の場を提供する。また、制約の多い今だからこそ公民館のガイドラインのに沿った上で工夫次第で楽しめる企画を用意し、参加者が明るい気持ちとなり地域が元気になるような事業とする。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を把握することや、3密を避けることなどを徹底し、慎重に実施する。公民館利用者や地域住民との相互理解を深め、社会教育や公民館活動の振興を図る。						
協力機関 及び団体	・たけさとBunkaウィーク運営委員会 ・協力員 ・「パソコンの操作を学ぼう！」ボランティアスタッフ ・春日部市子ども会育成連絡協議会		特 色 位置づけ	・運営委員会形式 ・1週間連続開催 ・管内の幼稚園・保育園、小・中学校連携		SDGs の目標No	11
会 場	武里地区公民館(全館)		教 材 資 料 等	プログラムにより異なる			
実施までの経過	9月1日～11月29日 参加申込受付 10月21日 第1回運営委員会 12月2日 第2回運営委員会 12月6日 事前会場準備 12月7日 学校等展示作品搬入 12月8日～13日 開催日 12月14日 学校等展示作品搬出		PR方法	公民館だより9月～11月号(周知・参加募集) ブログにて周知 管内の幼稚園・保育園及び小、中学校でのチラシ配布及びポスター掲示依頼			
			受付方法	(展示・体験) 公民館窓口にて参加申込書を配布 (見学) 自由 ※チケット制			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
12/8(火)	9:00～17:00	展示	鑑賞	51	94	145	各参加団体・作品応募者
12/9(水)	9:00～17:00	展示・サークル体験	鑑賞・体験	59	105	164	各参加団体・作品応募者
12/10(木)	9:00～17:00	展示・学芸員解説	鑑賞	46	133	179	各参加団体・作品応募者
12/11(金)	9:00～19:00	展示	鑑賞	51	67	118	各参加団体・作品応募者
12/12(土)	9:00～19:00	展示・写真入り名刺作り	鑑賞・体験	96	129	225	各参加団体・作品応募者
12/13(日)	9:00～16:00	展示 キッズフェスタinたけさと あそ防災 (展示・体験内訳) ・写真を集めた巨大日本地図 ・公民館利用サークル作品展示 ・うちdeつくろう！応募各作品展示 ・郷土資料館出張展示 ・防災プチ体験 ・フラダンス、茶道によるサークル体験	鑑賞・体験	148	256	404	各参加団体・作品応募者・体験応募者
6回	51時間			451	784	1235	
企画運営上の工夫	・コロナ禍での運営をめざし、創意工夫と趣向を凝らしたプログラム及び運営方法とした。 ・チケット制を導入し、一方通行にするなど安心・安全かつスムーズな運営につながるようにした。 ・運営委員や協力員の方に会場準備や受付等を依頼した。						
成 果 参加者の声など	受付や各部屋での検温や感染防止対策を実施しての初のチケット制での入場としたが、概ね順調に対応できた。また、アンケート結果からもコロナ禍での実施及び対応への評価は高く、企画自体への反応も良い印象を持っていた。展示や体験だけだったので寂しいという意見もあった。						
課題と展望	運営委員や協力員のサポートを得ながら進められたことでは地域やサークルとの協働の意味があった。コロナ禍での開催で、出来た部分や出来なかった部分を検討課題とし、次年度以降に反映できるよう取り組んでいく。						

事業名 テーマ	日食をみてみよう！ ～次回大きな日食は10年後～		対象	一般		定員	16名
ねらい	日食のメカニズムを学び、実際に見学することで、自然への理解を深める。また、月食のメカニズムもあわせて学ぶことで、令和3年にある皆既月食への興味・関心を高める。						
協力機関 及び団体	特に無し		特色 位置づけ	以下、企画運営上の工夫を参照		SDGs の目標No	4・11
会場	武里地区公民館 3階 研修室1及び屋上		教材 資料等	講師作成資料			
実施までの経過	4月上旬 講師依頼 5月1日(金) 公民館だより5月号 発行中止 6月1日(月) 公民館だより6月号 6月21日(日) 日食当日		PR方法	公民館だより5月号			
			受付方法	期間:5月22日(金)8:30～ 6月11日(木)17:00 方法:武里地区公民館に直接 又は電話により受付。 (先着順・参加費実費)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職 名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集まつの講座は中止。 公民館だより6月号で情報提供を行った。							文化財保護課 長谷川 清一
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	- 専用の道具を用意し、安全を確保するとともに、やってはいけない危険な観察方法の話も取り入れ、事業終了後に自分で見学する場合も安全に観察できるよう注意喚起する。 - 屋上の立入可能区域をバリケードを作ること明示し、また、直接太陽を見ないことを徹底することで、安全に運営を行う。						
成果 参加者の声など	集まつの講座は中止とし、公民館だよりで情報提供を行ったため、参加者の声はなし。						
課題と展望	令和3年度も皆既月食等の天文イベントがあるため、タイミングをあわせて企画したい。						

事業名 テーマ	趣味講座 うちdeつくろう！		対 象	一般		定 員	定めず
ね ら い	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家で過ごす時間が増えているが、「家にいてもやる事がなくなってきた」や、「新型コロナウイルスのニュースばかりで気が滅入る」という声を聞くようになってきた。そこで、家にいる間、別のことに没頭できる時間をつくり、前向きな気持ちになったり、新しい活動を始める機会とする。また、その発表の機会を設けることで、作品づくりの楽しさを伝え、新たな趣味活動を始めるきっかけとする。						
協力機関 及び団体	特に無し		特 色 位置づけ	コロナ禍で家で過ごす時間が増えた今だから実施すべき事業		SDGs の目 標No	11
会 場	無し		教 材 資 料 等	無し			
実施までの経過	5月 企画立案 6月～ 毎月1日発行の公民館だよりで募集		PR方法	公民館だより、ブログ、館内掲示ポスター			
			受付方法	FAX又は電子メールで受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
6月募集分	かかった時間は応募者により異なる。		実習	1	2	3	
7月募集分			実習	3	5	8	
8月募集分			実習	2	1	3	
9月募集分			実習	1	2	3	
10月募集分			実習	1	2	3	
11月募集分			実習	2	3	5	
12月募集分			実習	1	1	2	
12月8日(火)～13(日)開催の「たけさとBunkaウィーク」で展示する機会を設けた。							
1月募集分		実習	1	1	2		
2月募集分		実習	2	1	3		
3月募集分		実習	1	2	3		
10回				15	20	35	
企画運営上の工夫	応募資格を満たした作品は全て公民館ブログに掲載することで、出品者の満足度を高め、一過性の創作活動で終わらないようにする。あわせて、公民館だより等で紹介をすることで、より効果を高められるようにする。						
成 果 参加者の声など	「こういう企画があると張り合いが出る」との声があった。また、今年度は「たけさとBunkaウィーク」内での展示スペースも設けることができたため、成果発表の場として喜んでいただけた。						
課題と展望	今年度、延べ35作品の御応募をいただいたが、作品のジャンルも多様であり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加があった。毎月御応募いただく方もおり、当初目標としていた「一過性の創作活動で終わらないようにする」ことは達成できたが、リピーターだけの月もあったため当初の目的からは外れてしまう部分もあった。次年度の事業計画立案の際に、再考したい。						

事業名 テーマ	令和2年度春日部市民体育祭 第60回武里地区体育祭	対 象	一般	定員	種目ごと	
ね ら い	地区住民を対象として主体的に開催し、誰でも気軽に参加でき、地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。					
協力機関 及び団体	主催:春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管:武里地区体育祭実行委員会	特 色 位置づけ	武里地区内の自治会のコミュニティ醸成の場として、また、体育振興の場として。	SDGs の目 標No	3・11	
会 場	武里小学校校庭	教 材 資 料 等				
実施までの経過	6月10日(水) 企画運営会議 6月19日(金) 市実行委員会で中止決定 6月24日(水)関係者へ中止の通知を発送	PR方法	公民館だより8月号で体育祭中止について報告			
		受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	
10月11日(日)				中止		
				0	0	0
企画運営上の工夫						
成 果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。					
課題と展望	来年度実施する場合でも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開会式などの式典や、プログラム等、全面的な変更が求められる。通常1回であったプログラム編成会議を2回に増やし、関係者との協議を入念に進めていきたい。					

事業名 テーマ	サークルスタート	対象	公民館利用団体 一般	定員	特定せず	
ねらい	新規会員を獲得したいサークルと、サークル活動を始めたいので、情報が欲しい地域住民を結びつけることを目的とする。					
協力機関 及び団体	武里地区公民館及び武里東公民館利用団体	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	11	
会場	武里地区公民館及び武里東公民館	教材 資料等				
実施までの経過	2月1日(土) 公民館利用者会議で説明 3月1日(日) 公民館だより3月号に掲載 4月1日(水) 事業開始	PR方法	公民館だより			
		受付方法	随時受付			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
4月1日(水)～ 3月31日(水)		公民館サークル活動 の紹介掲示 参加団体:武里公2団体 武東公1団体	掲示			
				0	0	0
企画運営上の工夫	利用者会議で説明するとともに申込書を添付し、随時受け付けるようにした。					
成果 参加者の声など	武里地区、武里東公民館で3団体の申し込みがあった。					
課題と展望	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月から公民館が臨時休館になるなど、サークル活動が著しく制限され、新規会員を募集できるような事態ではなくなった。 令和3年度は武里地区公民館及び武里東公民館の利用サークルの体験、公民館だより、ブログ、掲示によるサークルの情報発信及び新規サークルの養成支援を行うことにした。					

事業名 テーマ	① 公民館利用者会議 ② 公民館利用者研修会		対 象	公民館利用者及 び利用予定者	定 員	武里 40 武里東30	
ね ら い	新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた公民館の利用方法及び、公民館施設 及びグラウンド利用者相互の交流、利用者と公民館との交流・連絡調整を行い、公民 館の円滑な利用を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	人権教育研修会 とあわせて実施	SDGs の目 標No	4・11	
会 場	武里地区公民館講堂及び 武里東公民館大会議室		教 材 資 料 等	会議資料、公民館へのご意見・ご要望 アンケート			
実施まで の 経 過	① 利用者会議 1月1日(金) 公民館だより1月号で 案内 1月16日(土) 団体あて中止通知発 送 1月17日(日)～会議資料配布 ② 利用者研修会 3月1日(月)公民館3月号で案内 3月6日(土)中止決定		PR方法	公民館だより			
			受付方法	①1月24日(日)までに直接又は電話 にて受付。 ②3月13日(土)から直接又は電話に て受付。			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月30日(土)	10:00～12:00	中止(武里地区公民館) 中止(武里東公民館) 中止(武里地区公民館) 中止(武里東公民館)					
1月30日(土)	13:30～15:30						
3月18日(木)	10:00～12:00						
3月21日(日)	10:00～12:00						
0回	0時間0分			0	0	0	
企画運営上 の 工 夫	1月30日に利用者会議を開催予定であったが、緊急事態宣言の発出に伴い会議では なく、資料配布に替えることになった。また、3月18日と3月21日にも利用者研修会とし て改めて団体に説明したいと思ったが、緊急事態宣言の延長で再中止となった。 なお、会議は中止となったが、利用団体へのアンケートは実施し、結果を公民館だより 4月号に掲載した。(調査対象団体数 149団体・アンケート回答団体数 76団体)						
成 果 参加者の 声 など	「公民館へのご意見・ご要望」の提出により、施設に関する意見が10件、使用規則に 関する意見が3件、その他の意見が11件、合計24件の意見・要望が寄せられた。						
課題と展望	公民館利用団体票を配布したが、公共予約システムの内容と違う団体が多かった。 今後は公共予約システムの利用者登録申請書も渡して、システムと違う団体には登録 申請書も一緒に提出していただけるようにしていきたい。						

事業名 テーマ	グラウンド利用団体代表者調整会議		対象	グラウンド利用者及び利用予定者		定員	特定せず
ねらい	公民館グラウンドの円滑な利用を図る。						
協力機関及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11
会場	武里地区公民館 会議室1・2 他		教材 資料等	会議資料			
実施までの経過	公民館だよりで告知		PR方法	公民館だより			
			受付方法	当日受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の会議は中止							
6月1日(月)	10:00～10:20	〃	協議	16	4	20	
8月16日(日)	10:00～11:00		協議	15	3	18	
10月18日(日)	10:00～11:00		協議	13	3	16	
12月20日(日)	10:00～10:40		協議	15	4	19	
2月21日(日)	10:00～10:40		協議	15	4	19	
5回	3時間40分			74	18	92	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月の会議は中止としたが、5月以降のグラウンド使用団体予定表を作成し、各代表者に届けた。その後、緊急事態宣言の延長に伴い、5月末日まで使用不可となったため、6月1日(月)に急遽会議を行い、6月以降の日程を定めた。						
成果 参加者の声など	グラウンドの利用がスムーズに進んだだけでなく、「来た時よりきれいにして帰ろう」と思い、ごみ拾いをした」等、「自分たちのグラウンド」としての意識を改めて持ってもらえるようになった。						
課題と展望	利用者団体の意見や要望を聞きつつ、グラウンドの円滑な利用を図るため、今後も会議を実施していきたい。また、土が硬くなったり、草の根がしっかりと張ってしまっていることから土の入れ替え等の整備を行うことが課題である。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	一般		定 員	武里40 武里東30	
ね ら い	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	人権教育事業		SDGs の目 標No	4・10・11	
会 場	武里地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	DVD映画「わっかカフェへようこそ」				
実施ま での経 過	1月1日(金) 公民館だより 1月号で案内 3月1日(月) 公民館だより 3月号で案内		PR方法	公民館だより				
			受付方法	当日会場にて受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1/30(土)	10:00～12:00	中止(武里地区公民館)						
1/30(土)	13:30～15:30	中止(武里東公民館)						
3/18(木)	10:00～12:00	中止(武里地区公民館)						
3/21(日)	10:00～12:00	中止(武里東公民館)						
0回	0時間0分							
企画運営上 の工夫	公民館利用者会議又は利用者研修会でDVD映画を流すことで1人でも多くの人に人権について、考える機会を設けた。 DVD「わっかカフェへようこそ」を視聴し、身近な人権問題を考えることを通じて、人権意識の高揚を図る。							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。							
課題と展望	今年度は人権教育研修会が実施できなかった。次回は早期に計画を立てて、実施していきたい。							